

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	卒業：必修 幼一免：選択
担当教員			
朝野 卓也			

講義概要	学んだ知識が実践の場である幼稚園・保育所・認定こども園等でどのように生かされているのか、施設見学やヒアリングも織り込みつつ考察する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 今後の授業の方向付け</p> <p>2 保育制度の確認 幼稚園と保育所の存在意義と役割の再考</p> <p>3 園経営の視点1 園経営方針と経営計画</p> <p>4 園経営の視点2 クラス運営と園務のかかわり</p> <p>5 園経営の視点3 保育課程の編成と実践</p> <p>6 保育制度の変遷1 制度改革と施策の展開</p> <p>7 保育制度の変遷2 認定こども園制度</p> <p>8 保育制度の変遷3 子ども・子育て支援制度</p> <p>9 施設見学1 幼稚園</p> <p>10 施設見学2 保育所</p> <p>11 施設見学3 認定こども園</p> <p>12 施設見学4 小学校</p> <p>13 ヒアリング1 子育て支援サークル代表及び保護者</p> <p>14 ヒアリング2 行政（県又は市）担当者</p> <p>15 子育て環境の変化まとめ 家庭、地域社会との連携も踏まえて</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①職業人である保育者として身につけておくべき専門知識を理解する</p> <p>②保育施設の組織人として求められる素養を理解する</p> <p>③成熟社会の進展を背景にして少子化が急激に進む今日、複雑多様化する子育て環境のあるべき姿を制度改革の観点から考察する</p> <p>④同じく、保育施設の存在意義について考察する</p> <p>⑤同じく、家庭・地域社会との連携を考察する</p> <p>試験の成績とレポート内容、研究意欲等で評価をおこなう。</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：なし</p> <p>参考書：『保育における感情労働』 諏訪きぬ 北大路書房 2011. 1 『保育園義務教育化』 古市憲寿 小学館 2015. 7 『最新保育資料集2017』 ミネルヴァ書房 2017. 4</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。